

課題リスト (10/23更新)

田中重人 (東北大学文学部教授)

1,2年生対象：2025年度 2学期 <火2> A202教室 Google Classroom クラスコード **wntrozbb**

1 課題についての説明

以下の課題について、それぞれの期日までに完成させて Google Classroom に提出すること。提出するファイルは、text, Google Document, Word, PDF のどれでもよい。

- 期日は、原則として金曜正午に設定している。
- 課題に関する質問は随時受け付ける。授業時の質問、Google Classroom ストリームへの投稿、電子メール のいずれの手段でもよい。
- 毎週の講義時間 (火曜2講時) に、課題について説明する。
- 提出された課題の内容によっては、再提出を指示することがある。(特に指示がない場合も、書き直したものを再提出してよい。)
- 課題は1回につき4点。最初に提出された内容でいったん点数をつけるが、再提出された場合には加点することがある。
- 何を調べてもよいし誰と相談してもよい (AIの利用をふくむ) が、それらの情報源について解答の中で説明すること。

2 課題

■課題1: 社会集団と文化 (締切 10/10 正午)

教科書 26 ページの次の部分において、「文化」はどういうものとして定義されているかを説明せよ。

文化とは、特定集団が世代を超えて創出・共有・改善・継承する知、価値、信念、行動様式であり、また物質的・精神的にみずからの生きる条件を豊かにするものである。

——本田量久「第2章 文化と社会」小池靖・貞包英之 (編)『社会学の基礎』有斐閣 (2024年)〔原文の強調を削除〕

「集団」「世代」「価値」などの専門用語がそれぞれ何を指しているか、また文の後半部分 (また物質的・精神的に……) がなぜ必要なかをよく考えること。

■課題2: フィクションと現代社会 (締切: 10/17 正午)

歴史的イベントや実在の人物が登場するフィクション作品をひとつとりあげ、その内容が現実の歴史あるいは人物のイメージにどのような影響をあたえているかを考察せよ。

■課題3: 学術書の構造 (締切: 10/24 正午)

教科書の本文は1ページから272ページまでであるが、その前にも後にもページが続いている。これらのページはどのような部分からなるか、またそれぞれどのような機能を持っているか解説せよ。(カバー、表紙、裏表紙は対象にしないでよい。)

■課題4: 国家 (締切: 10/31 正午)

教科書 204 ページ「正当な物理的暴力行使の独占を (実効的に) 要求する」とはどのような意味か。説明せよ。

■課題 5: 権力と支配 (締切: 11/7 正午)

ヴェーバーの議論によれば、「権力を持つ」と「支配する」ととの間にはどのようなちがいがあるか。教科書 202-203 ページを参考にして、説明せよ。

■課題 6: イデオロギー (締切: 11/28 正午)

文化資本とイデオロギーの間にはどのような関係があるか。教科書を参照しながら論じよ。

■課題 7: メディア (締切: 12/5 正午)

教科書 240 ページに出てくる航空会社の事例は、どのような意味で「アーキテクチャ」だといえるか。考えるところを述べよ。

■課題 8: 規範と社会統制 (締切: 12/12 正午)

「フォークウェイズ」と「モーレス」の間にはどのような違いがあるか。また、現代日本社会において「モーレス」に該当する事柄にはどのようなものがあるか。教科書第 2 章および第 5 章を参考にして、説明せよ。

■課題 9: 社会構築主義 (締切: 12/19 正午)

公式統計が実態からずれている事例としては、どのようなものがあるか。具体的に述べよ。

■課題 10: 消費社会 (締切: 1/2 正午)

教科書 192 ページ「この記号を用いた集団的コミュニケーション」とはどのようなことを指すか。具体例を挙げて説明せよ。